

『【新レベル表対応版】QC検定受検テキスト1級』
正誤表

No.	ページ	行 箇所	誤	正
1	267	下1行目	$12.125 \pm 3.494 = 12.631, 15.619$	$12.125 \pm 3.494 = 8.631, 15.619$
2	332	上4行目	$= -\frac{(78.7+70.8+\cdots+75.7)(68+33+\cdots+54)}{30}$ = 492.58	$-\frac{(78.7+70.8+\cdots+75.7)(68+33+\cdots+54)}{30} = 492.58$ 頭の等号削除
3	405	下8行目	$F(t) = \Pr(T > t) = 1 - R(t)$	$F(t) = \Pr(T \leq t) = 1 - R(t)$
4	117	上8行目	Nが相当大きければ	$x/n \leq 0.1$ であれば
5	343	上10行目	$\hat{\beta} \pm t(28, 0.05) \sqrt{\left(\frac{1}{n} + \frac{\bar{x}^2}{S_{xx}}\right) V_e}$	$\hat{\beta} \pm t(28, 0.05) \sqrt{\frac{V_E}{n}}$
6	379	表15.4 欄外	D^2 : 2群のマハラノビス距離	D^2 : 2群のマハラノビス距離の2乗
7	383	下3行目	以上より, 等分散の場合には	以上より等分散の場合には, z の式 中の μ_A, μ_B に \bar{x}, \bar{y} を代入して
8	384	上2行目	分散が等分散でない場合は, それぞれの分散 σ_A^2 と σ_B^2 から求めた	分散が等分散でない場合は, 母分散 σ_A^2, σ_B^2 に標本分散 V_A, V_B を代入して求めた
9	361	上6行目	モデルの適合性として14.5.3節の手法で確認されることが多い.	14.5.3節の手法を用いて実データでの適合性で評価されることが多い.
10	367	上13行目	予測値 \hat{y}_1	予測値 \hat{y}_i
11	367	上14行目	$\hat{y}_1 = h_{i1}y_1 + \cdots + h_{in}y_n$	$\hat{y}_i = h_{i1}y_1 + \cdots + h_{in}y_n$